

住まいの害虫⑨

名前：

ドクガ

発生時期：

3～8月（年1回の発生）

1 写真：

（幼虫）



2 生態：

区分	幼虫（終令）	成虫（雄）	成虫（雌）
大きさ	約 40mm	22～30mm	30～40mm
体色	体は全体的に黒色。 頭部は光沢のある黒褐色。 中央部は橙色。	全体に黄色。 翅の先端部に黒色の斑点、中央部に「くの字」上の黒褐色の帯状の紋あり。	
生息場所	バラ科（サクラ、ウメ、ナシ、リンゴ、キイチゴ）、ブナ科（クヌギ、コナラ、クリ）、マメ科、ツツジ科、カキノキ科などの葉		
発生時期	3～6月	6～8月	
被害	幼虫、脱皮殻に触れると激しい痛みと皮膚炎を起こす。	羽化の際、尾端に毒針毛を付着して脱出するため、それに触れても刺されてしまう。	
その他	卵は食草植物の葉裏に卵塊として産みつけられる。		
防除	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドクガは、成虫の大量発生後の駆除は難しくなるため、出来るだけ、幼虫が小さいうちに被害を見つけ、殺処分することが大切です。その際は、幼虫の毛が刺さることがあるため、ビニール手袋や火箸などを使用して行ってください。（水と洗剤の入ったバケツに入れて死亡させた後、土に埋める等）</li> <li>・また、卵塊を見つけてつぶすとかかなりの予防になります。なお、卵塊のほか、成虫を取り除く場合は、マスク・ゴーグル・手袋を着用して行ってください。</li> <li>・成虫は、部屋の灯りに飛来してくるため、早めにカーテンや雨戸等をして、防犯面も考慮した上で光対策をすることも効果的です。</li> <li>・室内に侵入したガは、暴れると毒針毛が空中に散らばり、その毛によって、皮膚炎を起こしてしまいます。発見したら濡れ雑巾で取り押さえ、ティッシュペーパー等に包んで捨てることが重要です。</li> </ul>		